



会社概要説明資料

ホームサーブ株式会社

2021年11月18日

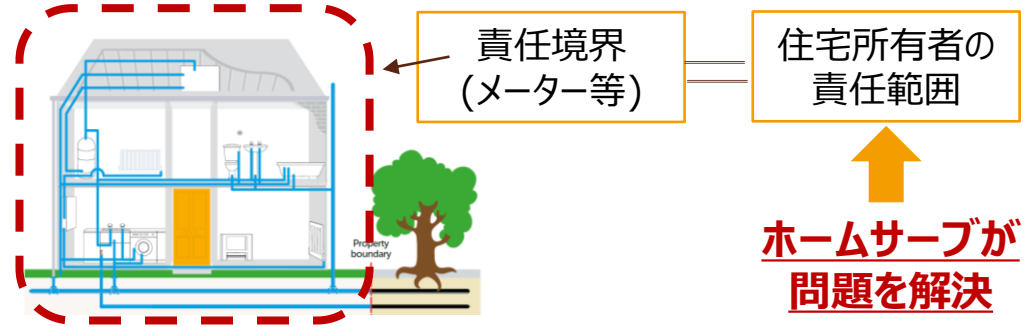
1. ホームサーブの会社概要

ホームサーブ(株)会社概要

法人名	ホームサーブ株式会社
本店所在地	東京都中央区日本橋室町1丁目2 -6
会社設立日	2019年2月22日
事業内容	住宅設備のサブスク型修繕サービス提供
資本金	21億円
株主構成	三菱商事50% HomeServe International 50%
代表取締役社長	伊達隆裕(三菱商事出向者)

提供サービス

- 自治体・電力会社が直接対応できない、住宅内の設備(給排水設備・電気設備・エアコン)の問題をワンストップで解決



当社の実績

中国電力

サービス名称
「ぐっとずっと。住宅安心サポート」



東北電力

サービス名称
「東北電力のすまい安心サポート」



九州電力

サービス名称
九電あんしんサポート「ホームサポート」



提携先世帯数

約12百万世帯

2021年10月末時点

顧客数

約3.5万件

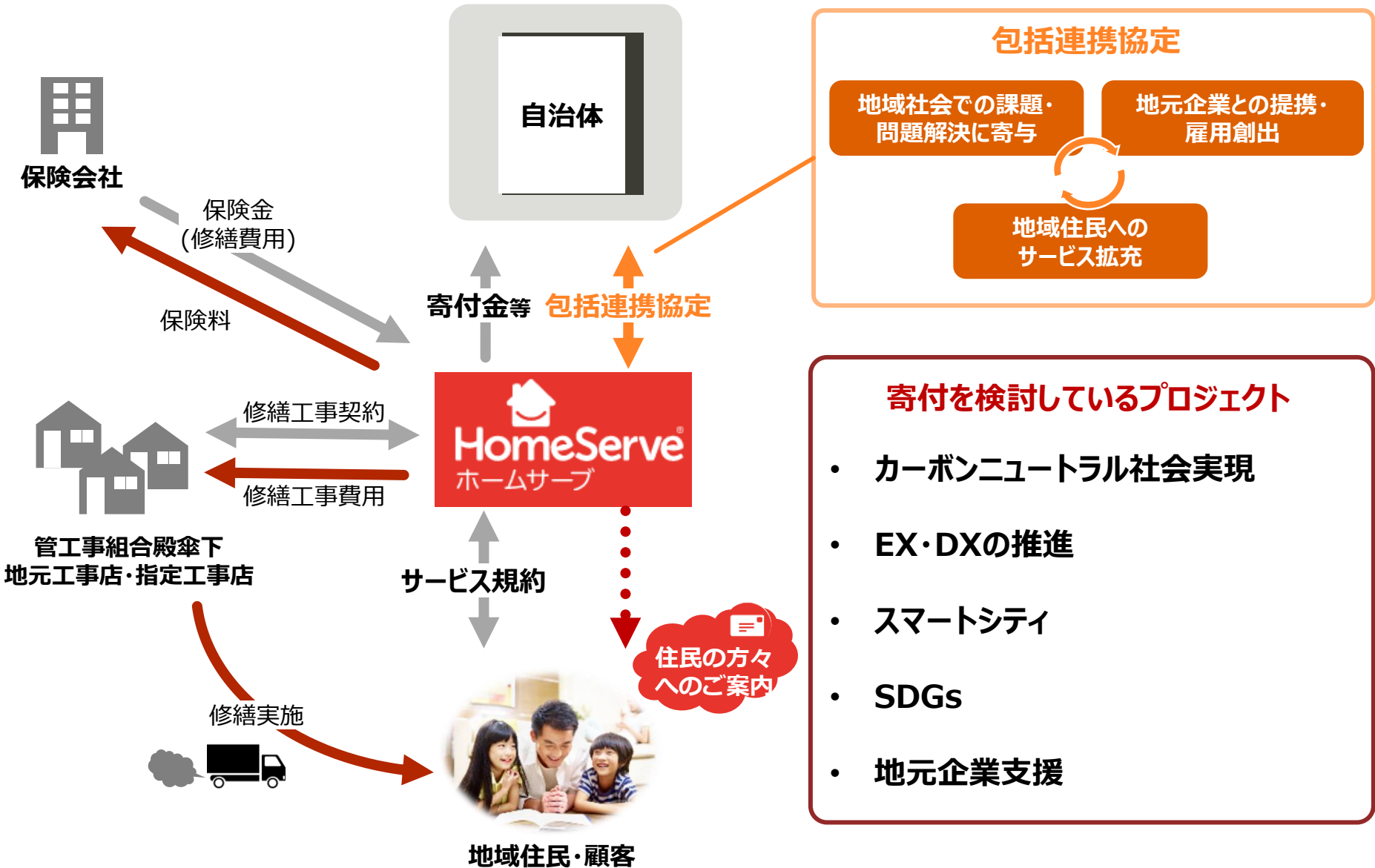
2020年1月～

顧客維持率

92.3%

年間ベース

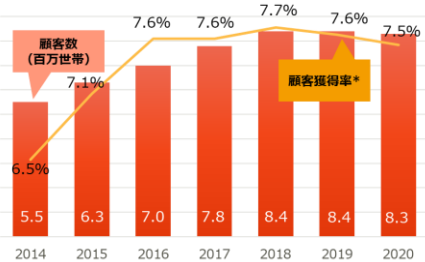
2. 自治体との協業モデル・寄付対象プロジェクト



HomeServe社概要

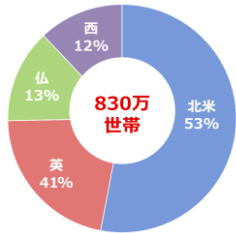
時価総額	約6,200億円
従業員	約6,300名
アクセス可能な顧客数	1.1億世帯
(Utilityパートナーの顧客基盤)	

【顧客数】



*アクセス可能な顧客数に占める顧客数

【顧客の地域分布】



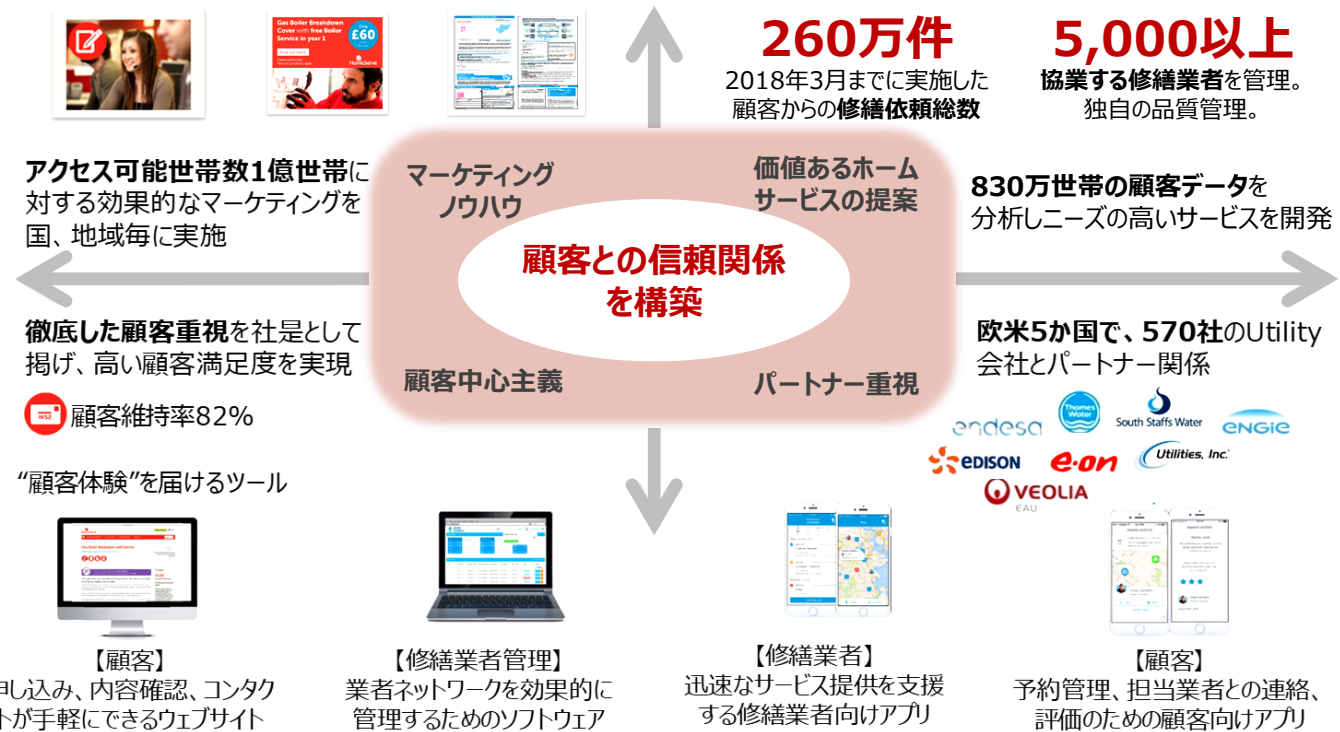
【財務実績】

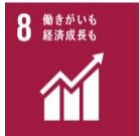


HomeServe社の歩み



HomeServe社の強み





ゴール8
働きがいも経済成長も

- ① 新たな顧客・事業機会を創出し、**地域の経済活性化を支援**
- ② 適正な料金体系での料金回収を担保し、**働きがいのある事業環境を整備**



ゴール10
人や国の不平等をなくそう

- ① 各地域でインフラ修繕ネットワークを構築する事で**インフラ関連サービスの地域格差の解消**を支援



ゴール12
つくる責任・つかう責任

- ② インフラ整備事業を展開し、**持続可能なインフラの整備に寄与**
- ③ 地域住民の方へより**安心・安全な生活サービスの提供**



ゴール11
住み続けられるまちづくりを

- ① 顧客からの利用料金の一部を寄付としてお支払いし、**新たな収益源の確保に寄与**
- ② インフラ整備事業を展開し、**インフラ関連サービスの質向上**に貢献



ゴール17
パートナーシップで目標を達成しよう

- ① **自治体及び地域に根差した地元企業とのパートナーシップ**により、生活インフラ修繕サービスを通じて、地域の課題解決に寄与する

VR 3D-CG FEM CAD Cloud
UC-1 series UC-win series Suite series



地方創生SDGs官民連携プラットフォーム・第16回企業版ふるさと納税分科会
「企業と地方公共団体とのマッチング会」

企業版ふるさと納税を活用した 3DVRデジタルツイン都市モデル構築

2021年11月

株式会社フォーラムエイト
システム営業Group 新田 純子





株式会社フォーラムエイト (FORUM8. Co., Ltd)

設立：1987年5月 資本金：5,000万円

登録：建設コンサルタント

事業内容：設計支援ソフトウェアの開発／販売／サポート
各種ソリューション提供

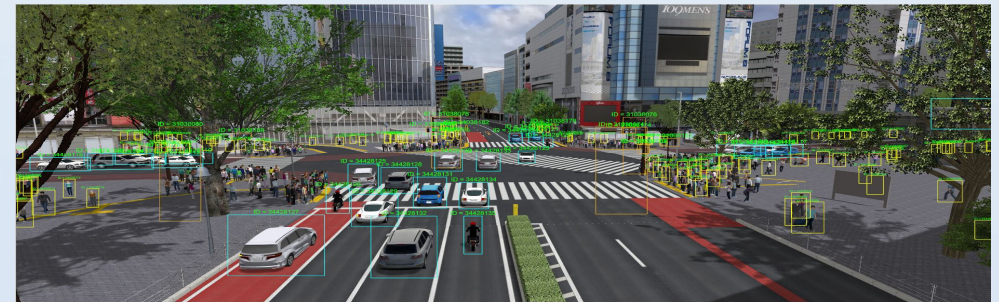
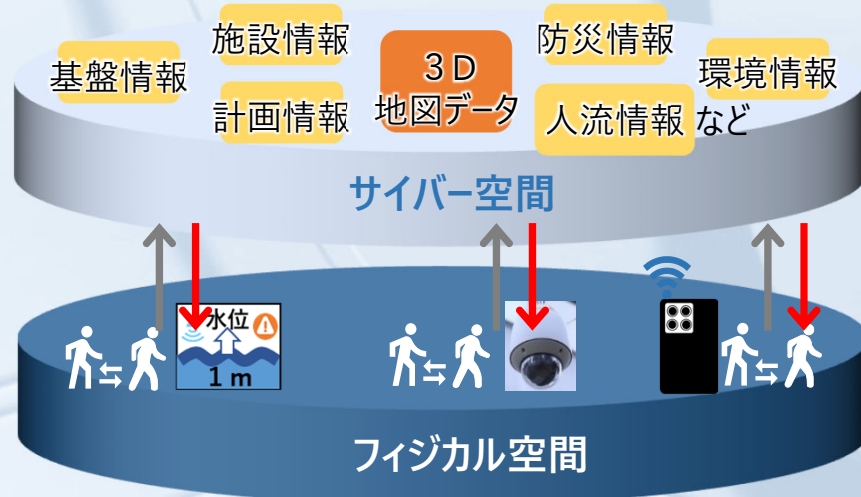
従業員数：288名 (2021.4.1現在)



- ◎ 土木設計支援パッケージソフト開発販売で創業、UC-1は、1981年発売開始
- ◎ 登録ユーザ数129,485 (2020.12.1現在)、土木設計ソフトで、トップクラスのシェア
- ◎ ユーザ内訳：建設コンサル60%、官公庁、大学、建設、自動車、各種研究機関
- ◎ 工学博士6名、技術士5名 (建設/情報工学/総合技術管理)
ソフト開発・応用情報・基本情報技術者64名
- ◎ 事業所：国内11・海外5で営業展開、ソフト海外輸出・大型プロジェクト受注
- ◎ 100%出資 (海外)：上海富朗巴／青島軟件技術／台湾富朗巴／F8ベトナム／F8ミャンマー
- ◎ 2020年34期は、売上42.4億 (純利益は過去最高7.85億)
- ◎ 認証登録：ISMS、Pマーク、QMS(ISO9001)、BCMS (BCP)、EMS (ISO14001)を全社で取得
PSQ認証制度取得 (UC-win/Road Ver.12、UC-1シリーズ各種製品)
- ◎ 基本特許取得：データ伝送技術「a3S クラウド伝送ライブラリ」／クラウド管理システム
VR-Cloud[®] 運転シミュレーション／クラウドコンピューティングのアーキテクチャ 他

次のような事業に取り組んでいる地方公共団体への寄附を検討しています。

- ◆全体最適・市民参加型・機動的なまちづくりを実現
- ◆多様なシミュレーションによる防災政策の高度化・安全教育の実践



- VRプラットフォームで
インフラ計画の合意形成を効率化
- 土木・自動車・防災・環境・
教育・医療など幅広い分野に適用可能

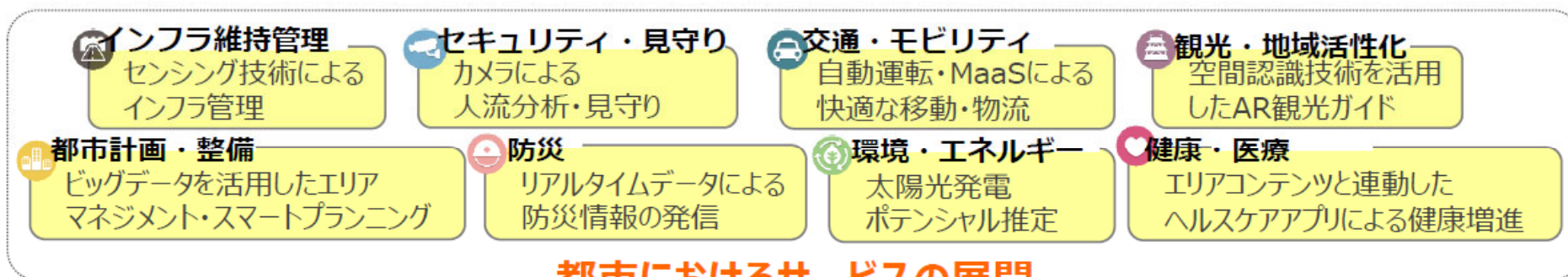
- 様々なオープンデータと
連携するカスタマイズ開発が容易
- サイバー空間と現実世界をつなげ
社会課題を解決するSociety5.0の具現化



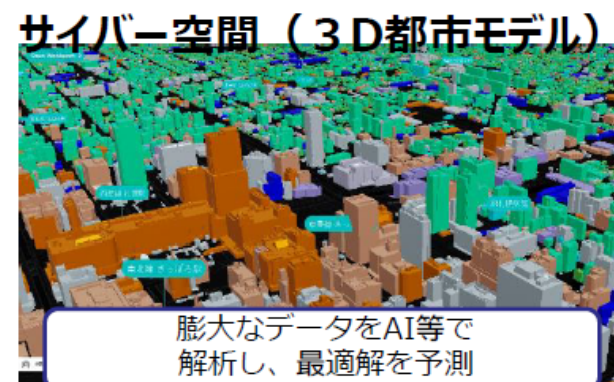
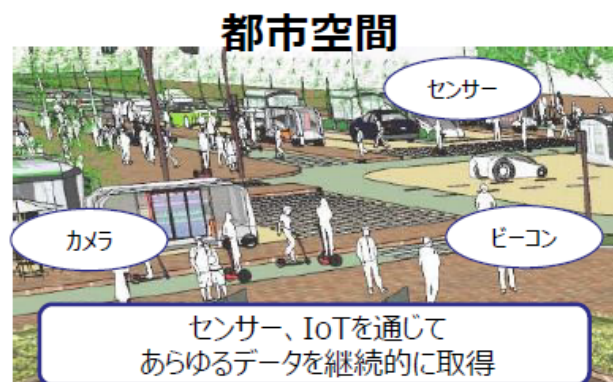
スマートシティの社会実装の加速

新技術や官民データの活用により都市が抱える諸課題の解決や新たな価値の創出を図ることで、住民満足度の向上やグリーン化など多様で持続可能な「スマートシティ」の社会実装の加速に向けて、モデルプロジェクトを支援するとともに、センサー等のデジタル技術の都市空間への実装を支援する。また、「スマートシティ」を始めとしたまちづくりのDXを進めるため、基盤となる3D都市モデルの整備・活用・オープンデータ化を推進する。

住民満足度の向上、グリーン化など多様で持続可能なスマートシティを構築



都市におけるサービスの展開



データを取得、連携

UC-win/Roadを用いたデジタルシティ活用事例

●防災・減災シミュレーション

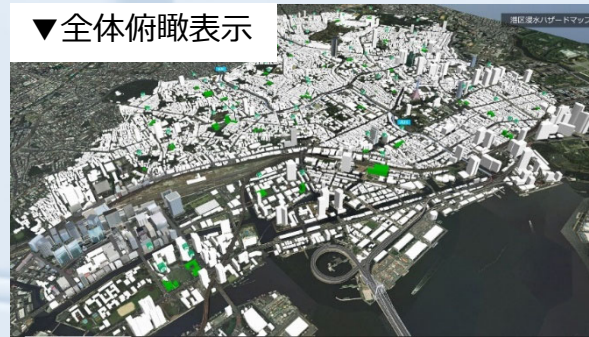
災害時のシミュレーションや避難経路を3次元で確認可能。マルチハザードにも対応。
わかりやすい避難誘導説明が実現し、防災教育や避難訓練などで有効、全体の俯瞰図、実際の避難場所の位置、浸水前と浸水後の様子がウォークスルーできる。

▼港区浸水ハザードマップ

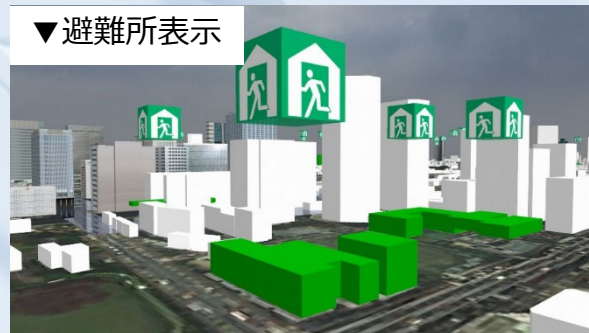


出典：東京都港区ホームページ

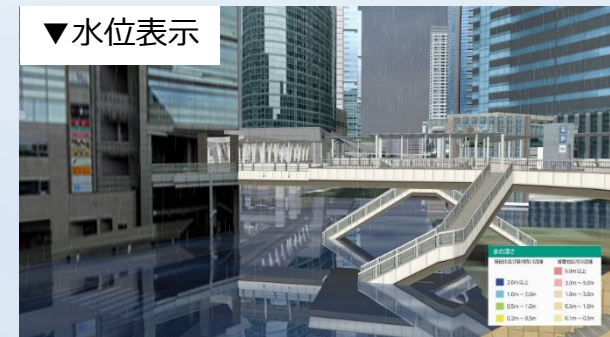
▼全体俯瞰表示



▼避難所表示



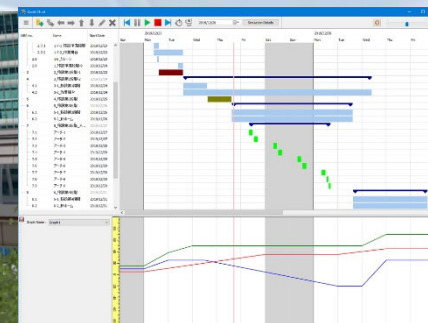
▼水位表示



▼浸水範囲、浸水深の表示

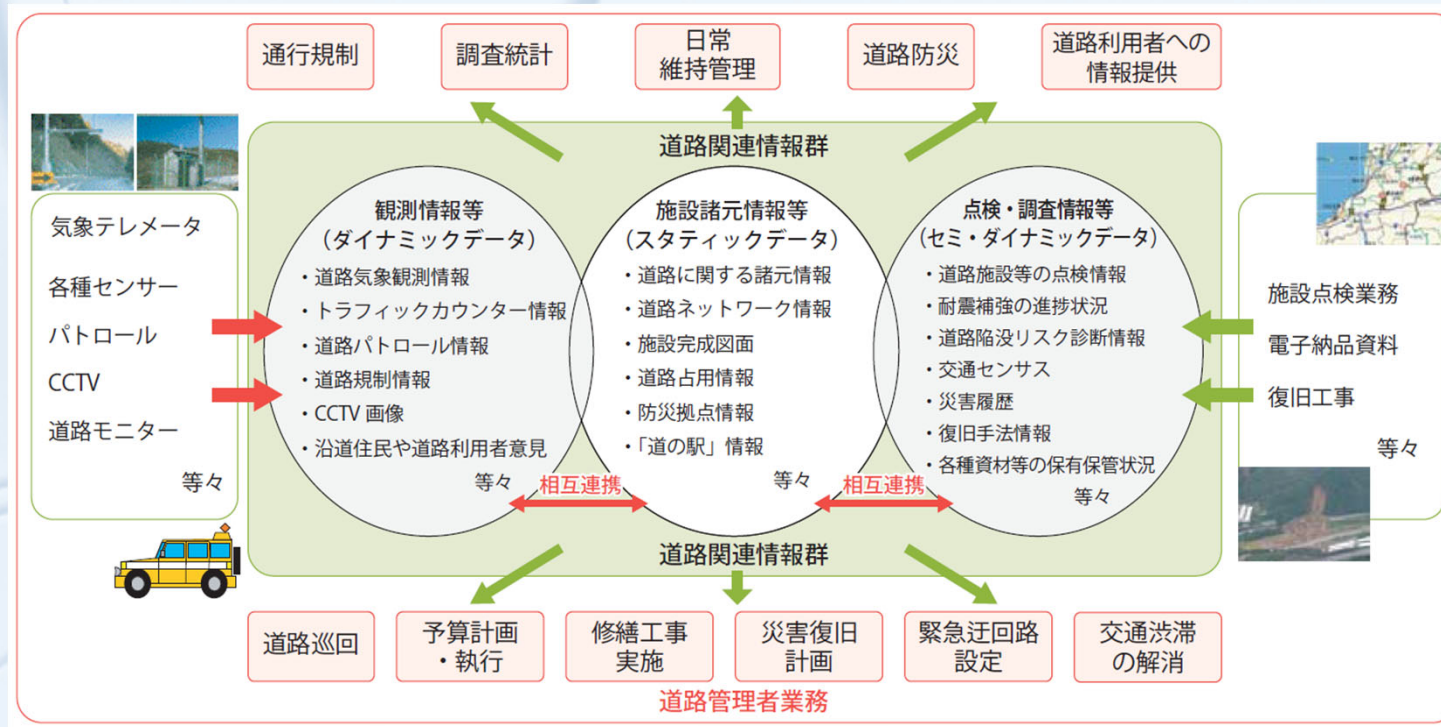


●都市計画、4D・nDシミュレーション

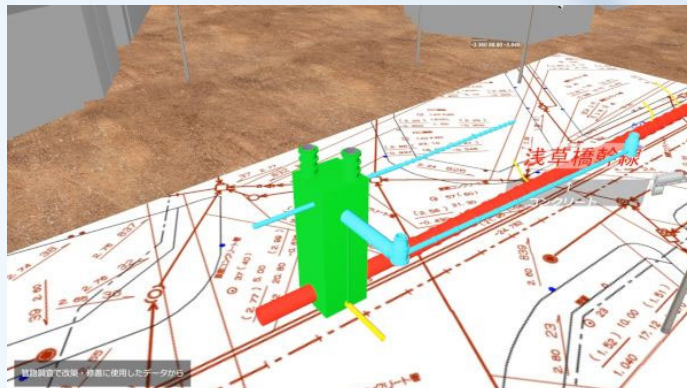


インフラデジタルデータベースとの連携

デジタルツイン上に地下インフラの符号データを付加、道路・下水・橋梁等の各デジタルインフラDBシステムと連携



■維持管理 データベースと連携し、2D図面、3DVRで地下インフラを参照



- ▶ 2D図面・3DVR連携表示
- ▶ 地上構造物との関係も確認可能
- ▶ インフラデジタルデータベースと連携

VR 3D-CG FEM CAD Cloud
UC-1 series UC-win series Suite series



ご清聴ありがとうございました。

<連絡先>

〒108-6021

東京都港区港南2-15-1 品川インターシティA 棟21F
株式会社フォーラムエイト

システム営業Group 新田 純子

TEL: 03-6711-1974(ダイヤルイン)

FAX: 03-6894-3888

E-mail : nitta@forum8.co.jp

